

1年次から始まるゼミナール Seminar Information

高校までの学びと大学での学修の最も大きな違いはゼミナールにあります。
ゼミナールでは学生みずから選んだテーマに基づき、議論を重ねながら研究を深めます。
研究をさらに深めるため、国内外での調査活動に赴くこともあります。



ゼミナール授業の様子 学外調査の様子



演習(ゼミナール)は、特定のテーマに関する研究発表、担当教員との質疑応答や学生同士の討論、またグループワークを通じて、学生の主体的な学修を促すための科目です。1年次「ベーシック演習Ⅰ・Ⅱ」→2年次「課題演習Ⅰ・Ⅱ」→3年次「演習Ⅰ・Ⅱ」→4年次「演習Ⅲ・Ⅳ」「演習論文」と、入学から卒業まで、学生が各自の関心や目的に応じて演習科目を段階的に学修することができます。
さらに、2021年度に新設された「国際教養演習Ⅰ・Ⅱ」では、将来、グローバル社会で活躍するために必要とされるスキルを身につけることを目指し、世界の言語、歴史、文化等に関する知識を深めることができます。

■1年次「ベーシック演習Ⅰ・Ⅱ」(教員氏名/テーマ)

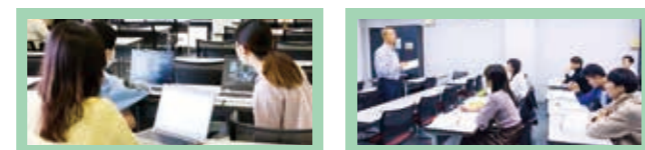
企業と経営を考えるゼミ	江口 匡太	ドキュメンタリーや映画などを通して現代史と現代社会を学びます
大沼 宏	小原 拓也	ミクロ経済学と経済学を学ぶことでプレゼンテーション能力と論理的思考力の修得を目指す
奥山 英司	関根 正敏	スポーツで地域課題を解決する!? ~「防災×スポーツ」のフィールドワーク~
齋藤 正武	竹田 信夫	ビジネス雑誌のニュースを読む
酒井 麻衣子	袴田 光彦	現代の日本経済を理解する ~歴史と現状、そして将来~
佐久間 英俊	白高 克平	現代の経済構造と企業システムの特徴と変遷に関する幾つかの重要な論点について参加学生と討論しながら考察する
西村 純	村上 研一	格差、貧困、ハラメント、少子化など現代日本経済の諸課題について考える
朴 幸佑	山上 淳一	あなたは税をよく知らないまま社会人になりますか? 1回1回税に向き合ってみませんか?
平澤 敦		人間と文化を考えるゼミ
平澤 哲	新井 裕	オペラ入門-舞台の上のコミュニケーションを通して、人間の世界を考えます
技法(スキル)を身につけるゼミ	池澤 遼子	映画で考える中国の人と文化
石村 直之	市場 俊之	スポーツを「みる」
久保 知一	宇田川 幸大	近現代日本の戦争と「戦後」を考える
窪田 康平	大貫 茂紀	日本の中世に生きた人びとの実態を知り、現代社会との異同について考える
櫻井 康弘	小田 悠生	グローバルヒストリー入門:世界遺産を通じて考える歴史と記憶
垂井 奏子	河色 肇	フォークの歯はなぜ四本になったか
原田 喜美枝	金 慧	社会と政治を哲学的に考察する
平野 健	栗原 文子	グローバル共生社会における異文化理解力について、多角的に考察する
福島 一矩	河野 哲宏	記号学と文化
福田 公正	高次 裕	ドイツ語圏の歴史と文化
藤木 裕	高松 英樹	新聞からスペインで「今」起きていることを読み解き、日本の出来事と比較する
舟木 律子	二宮 理佳	日本の歴史・文化の成り立ちや影響について、自分の目や足で情報を集め、発表する
彭 思雄	その他	
増田 桂子	根本 俊一	大学での「学び」の基礎を押しさえ、企業研究の練習をしてみましょう
山本 慎悟	笹川 浩	分類(4)「イギリスの歴史と文化を学び考える」
社会と経済を考えるゼミ	高岡 正人	時事的な外交・国際問題を理解し、考える力、議論する力を養う
阿部 雪子	根本 忠宣	東京一極集中と地方問題について考える
石坂 元一	森谷 橋	からだの適応力を科学的に紐解き、身体トレーニングの謎に迫る!

■2年次「課題演習Ⅰ・Ⅱ」(教員氏名/テーマ)

専門分野の基礎的な知識を身につけるゼミ	技法(スキル)を身につけるゼミ	
浅倉 和俊	石村 直之	社会科学・実社会における数理科学の手法入門
阿部 雪子	窪田 康平	社会科学における実証分析入門
李 奕泰	齋藤 正武	情報処理技術者への架け橋
石川 鉄郎	高岡 浩一郎	商学・経済学で用いられる数学の入門
井上 義明	西村 純	書籍で学ぶワークルールの決め方
小原 拓也		企業と経営を考えるゼミ
久保 康一	市村 誠	グループワークによって経営数字や企業情報を利用して企業経営を学ぶ
熊倉 広志	河色 肇	環境問題への社会科学的アプローチ(環境と技術の経済学)
朱 珉	日高 克平	日本自動車産業のグローバルな事業展開についての共同研究
ショルツ アンカト		文化・芸術・文学・思想などに関する教養を深めるゼミ
高田 直樹	潮 清孝	マイナー競技(主に剣道)を通じたビジネスおよび海外文化の理解
寺本 高	宇田川 幸大	近現代日本と世界の政治・社会・文化
西川 佳穂子	大浜 陽子	ドイツ語を歌う - 歌うことを通じて、ドイツ語やドイツについて知識を深めよう
フィゲロア ラファエル	金 慧	政治哲学をつうじて戦争と平和を考える
彭 思雄	砂川 和範	映画で学ぶ文化・政治・経済 - キューブリック作品を中心に -
本庄 裕司	袴田 光彦	日本の大学教育を考える
山田 辰己	南 はるつ	「都市化するドイツ、観光化するスイス - アルプスの少女ハイジの現代性」
吉田 智也	山浦 アンヘラ	ラテンアメリカの文化を知る
	ラサモエラ ポリアナ	フランス文化:歴史、芸術、映画、歌、自然、スポーツ、料理、マナー、日常生活...

■3年次「国際教養演習Ⅰ・Ⅱ」(教員氏名/テーマ)

新井 裕	高松 英樹	スペインのメディアを読み解く
小田 悠生	福山 由美子	現代イギリス文化論
栗原 文子	ブラック グラント	Global now
河野 哲宏	モートン ロバート	Bakumatsu and Meiji Japan viewed from the inside and outside
小林 佐江子	山本 明	物語分析(ナラトロジー)を通じた異文化コミュニケーション能力の獲得



■3年次「演習Ⅰ・Ⅱ」・4年次「演習Ⅲ・Ⅳ・論文」(教員氏名/テーマ)

浅倉 和俊	国際会計基準を中心に財務会計を学ぶ	高田 直樹	イノベーション・技術経営の実証研究
李 奕泰	顧客視点からの製品・ブランドの研究	高見 澤秀幸	世の中の現象を実証する
石坂 元一	保険とリスクマネジメントに関する理論および実証研究	武石 智香子	社会的テーマについて自らデータを収集し、Rを用いて、量的・質的データ分析を行う
石村 直之	社会科学・実社会で役に立つ数理科学の手法	竹田 信夫	経営情報システムの企画と運営
市村 誠	企業分析(企業戦略、財務、ESG、SDGs、現状分析とバックキャスト)	寺本 高	消費者の買物行動とマーケティングに関する実証研究
井上 真里	グローバル・マーケティングを現象と理論の両面から深く理解する	西村 純	労使にとって望ましい人事管理の在り方を考える
井上 義明	現代経済学と社会的企業	西村 剛一郎	優秀企業と経営者の研究
潮 清孝	創業体験プログラムを通じた経営・会計の実践	根本 忠宣	グローバルマネーの実態
宇田川 幸大	現代世界の総合的研究 - 歴史・政治・哲学・文化	朴 幸佑	消費者心理を起点とするマーケティング研究
江口 匡太	ゲーム理論、経済学を通して、反証可能な仮説を立て、データで検証する方法を学ぶ	羽田 尚子	企業・大学・公的機関のイノベーションの研究
根本 俊一	企業はデジタル・エコノミーに対応して如何にサバイバル成長するのか?	原田 喜美枝	金融・経済データを分析する力を身に付けて、英語でのプレゼンテーション力も養う
大沼 宏	会計情報から企業と経営と市場を解析する	平澤 敦	加配と世界経済の企業家精神のポジションを踏襲して考えよう - グローバル・イノベーションのKEY WORD -
奥山 英司	企業分析・証券投資を通して経済と企業を学ぶ	平澤 哲	現代社会の課題と組織の挑戦
小原 拓也	財政学に関する研究	平野 健	現代アメリカ社会の問題性と可能性
川端 千暁	財務諸表監査・コーポレートガバナンスに関する研究	福島 一矩	マネジメント・コントロールを理論的に説明する
菅野 洋介	商品開発マネジメントの探求	福田 公正	企業のデータ分析
木立 真直	現代の流通・マーケティングの戦略性と社会性	藤木 裕	経済のデジタル化に伴う金融業の変貌
金 慧	社会と政治を哲学的に考察する	舟木 律子	比較政治学・ラテンアメリカ政治・多文化共生
久保 知一	マーケティングの実証研究	彭 思雄	チームワーク・アントレプレナーシップ、創造性に関する研究
窪田 康平	因果推論を用いた実証研究	堀内 恵	情報技術を駆使する経営革新と経営戦略
熊倉 広志	消費者行動研究とデータ分析によるマーケティング研究	本庄 裕司	商学の研究に励むゼミです。大学でしか学べないアカデミックな内容を探索します
経 潤	金融・企業・経済について調査・研究をして面白いことが話せるようになる金融ゼミ	三浦 俊彦	マーケティングと消費者行動
齋藤 正武	MOT(技術経営)/IoT(情報技術)の融合	村上 研一	社会・福祉と両立し得る日本の産業・経済のあり方を考える
酒井 麻衣子	消費者視点のサービス・マーケティング研究	山上 淳一	税が抱える課題を探索する
佐久間 英俊	社会的マーケティングを考える	山口 朋泰	財務会計の探求
原田 喜美枝	会計情報システムの研究	山田 哲弘	会計情報を用いた企業・市場・制度の実証分析
砂川 和範	創造性をめぐる経営学	山本 慎悟	貿易実務上の諸問題に関する事例研究
関根 正敏	社会問題の解決に寄与するスポーツの活用可能性	吉田 智也	簿記・会計学に関する諸問題の検討・研究
高岡 浩一郎	社会科学における確率・統計の考え方、使い方	渡辺 岳夫	組織心理学、業績管理会計論、スポーツビジネスに関する実証的研究

ゼミで学んだ成果を発表する

商学部ゼミナールプレゼンテーション大会



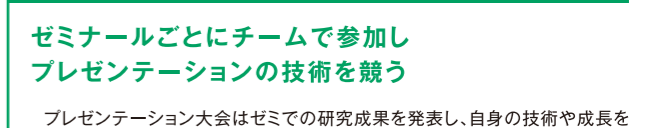
プレゼンテーション大会は毎年11月~12月に開催されます



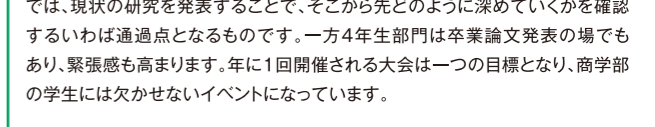
各部門に分かれて参加チームが発表します



発表後には参加学生や教員も含めた質疑応答を行います



優秀な発表者は懇親会にて表彰されます



2022年度は感染防止対策を講じて開催しました

ゼミナールごとにチームで参加しプレゼンテーションの技術を競う

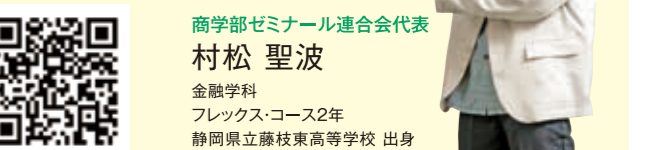
プレゼンテーション大会はゼミでの研究成果を発表し、自身の技術や成長を知る絶好の機会です。学年や研究分野によって部門を分け、3年生以下の部門では、現状の研究を発表することで、そこから先どのように深めていくかを確認するいわば通過点となるものです。一方4年生部門は卒業論文発表の場でもあり、緊張感も高まります。年に1回開催される大会は一つの目標となり、商学部の学生には欠かせないイベントになっています。

大会の運営はすべてゼミナール連合会が担当

このプレゼンテーション大会は学生によって組織された商学部ゼミナール連合会(ゼミ連)によって運営されています。参加チームごとにゼミの研究内容や卒業論文について発表がなされ、終了後には表彰式と懇親会が行われます。ゼミ連では、球技大会や講演会も企画し、ゼミナール間の交流を深め、商学部全体を盛り上げる活動を行っています。また他大学との交流も積極的に行い商学部生の学術研究の発展・向上に努めています。

商学部ゼミナールプレゼンテーション大会は、私達が運営しています 学生の運営による商学部ゼミナール連合会

商学部の活性化のため、プレゼン大会・球技大会等イベントの企画・運営や商学部生へのお役立ち情報をSNSで発信するなど、学生主体で活動しています。私たちの活動に興味のある人、ゼミ連の一員として商学部生を支えていきたい人はぜひ当団体の各SNSをチェックしてみてください!



商学部ゼミナール連合会代表
村松 聖波
金融学科
フレックス・コース2年
静岡県立藤枝東高等学校 出身